



## ～ 子どもを不幸にする方法とは ～ (ツバメから教わる)

校長 牧 哲史

校内にツバメが巣作りをしている箇所があります。そのツバメの様子を見ていて以前、テレビ番組で日本野鳥の会に入会している方の話を思い出しました。その方は休みがとれると山に登り、野鳥を観察するのが趣味の方でした。鳥の鳴き声を聞いたとたんに、その鳥の名前や特徴などをどンドンしゃべり始めます。県内どころか、日本中のあちこちに出掛けて、野鳥を観察するのです。鳥から教わることは決して少なくないと熱く語っていました。ツバメは、日本に渡ってきてから、ひと夏に2回子育てをします。1回につき、数個の卵を産みます。雛（ひな）にえさをあげるために1日中必死になって飛び回る姿を見たことがある人は多いと思います。親鳥は雛の成長とともに、えさの量が増えてくるので、あちこちに忙しく飛び回ります。雛の成長と比例して、えさを雛に運ぶ頻度はどんどん増えていきます。ところが、親鳥は雛が成長し、巣立ちを前にすると、急にえさやりの回数を減らします。すると、雛は仕方なく、巣から飛び出して、以前のようにたくさん食べられるように、自分の羽根で飛び回り、自分でえさを食べるようになるのです。これが巣立ちです。

私たちにとって、巣立ちとは、輝く未来に羽ばたくと明るいイメージがあります。しかし、ツバメの子どもたちにとっては、そんなカッコいいものではありません。（親鳥が）えさを減らすので体重が減り、（親鳥から）飛ぶことのできる体型にしてもらうので、おなかがすいて仕方ないのから巣を飛び出していくということなのです。あるときに、その方は何かの原因で巣が壊れてしまった雛を預かって育てた経験があるそうです。雛がおなかがすいたとしきりに鳴くので、ついついえさを頻繁にあげてしまったそうですが、親ツバメと同じくらいの大きさになっても巣立っていかなかったということです。

小学校卒業とか、中学校卒業とか、高校卒業とか、大学卒業とか、その節目節目は、いわゆる巣立ちのように思えます。ツバメのように人には食事を減らしていく訳にはいかないので、それぞれの節目の時期には、その年齢に応じた「精神的な飢え」を経験させることが必要ではないでしょうか。

いつまでも子どもが言うとおりに物事が進んでいったり、（わがままが通るという意味です）望む物が何もかも手に入ったり、何もかもお膳立てしてあげたりしていたら、自立や自律をせず、いわゆる巣立ちは望めません。いろいろと苦勞をするから、心身共に成長するのです。

陵南の子どもたちは明るく元気で、素直なのですが、「自分に甘い」「努力を惜しむ」「面倒くさいことは嫌」「思ったことをすぐ口にしてしまう」などの気になる部分もあり、精神的にとっても幼いと思うことがあります。だから、この「精神的な飢え」を仕掛けていく必要があるような気がしてなりません。

時代が違えばそれまでですが、何かしら、子どもにさせることはないでしょうか。ツバメが教えてくれている、自立に向けた適度な「突き放し」が必要ではないかと考えるのです。「いいや、これだけはちゃんとしなさい」という仕事です。

勿論、「突き放し」はすればいいという訳ではありません。適度な「突き放し」をするまでは、幼児期から親子で十分なコミュニケーションを図り、スキンシップもたくさん重ねてきて、がっちり信頼関係を築いておかなければなりません。それがなくなると突き放されたら、子どもは「親に見限られた」くらいのショックを受けてしまい、逆効果になってしまいかねません。

思想家ルソーは次のような言葉を残しています。「子どもを不幸にする一番確実な方法は、いつでも、何でも手に入れられるようにしてやることである。」

本年度も教育目標の達成に向け、下記の努力点及び実践事項3点

- 1 確かな学力の育成
- 2 礼儀正しく思いやりの心の育成
- 3 ねばり強い心と体の育成

を挙げ、課題解決のために全職員一丸となつて努力して参ります。特に子どもたちの学力向上については、大きな喫緊の課題です。学校と家庭と連携を取りながら進めていきたいと考えます。御支援御協力をよろしくお願ひします。

#### 【学校教育目標】

ふるさと陵南にほこりをもち、心豊かでたくましい子どもの育成

#### 【校訓】

なかよく かしこく たくましく

#### 【確かな学力の育成】

- 1 「できる・分かる」授業の実践
  - ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得・自力解決の場の設定
  - ・ ペア・グループ、全体での意見交流
  - ・ 「読み・書き・計算」の徹底
  - ・ ICTの効果的な活用
- 2 少人数指導（算数科）、合同授業の推進
- 3 特別支援教育と個別指導の充実
- 4 授業連動型の家庭学習の推進
- 5 体験活動の推進（観察・見学等の教科に応じた具体的体験を伴う学習）

#### 【礼儀正しく思いやりの心の育成】

- 1 一人ひとりを大切にする学級経営
  - ・ 称賛する場、居場所、出番づくり等
- 2 豊かな体験活動の推進
  - ・ ボランティア活動、花づくり
- 3 ふるさとを愛する環境・郷土教育推進
  - ・ 地域の「ひと・もの・こと」の活用
- 4 陵南「あそはな」の徹底
- 5 いじめ不登校ゼロをめざす
  - ・ 早期発見、早期解決
- 5 読書指導の充実（年間読書冊数）

#### 【ねばり強い心と体の育成】

- 1 「早寝 早起 朝ご飯」の生活リズム
- 2 「たくましい陵南っ子」の育成
  - ・ 体育での運動量確保
  - ・ なかよし体育の充実
- 3 健康診断結果の活用～むし歯治療推進
- 4 安全・安心の学校づくり
  - ・ 危険予知トレーニングの推進
- 5 「歯と口の健康」の推進
  - ・ 養護教諭とのTT授業実施
- 6 栄養教諭との連携による食育の推進



### 防犯パトロール隊の皆様に感謝！5月17日（火）

風雨の日も毎日、子どもたちの登校を見守ってくださる防犯パトロールの方々。

交通量の多い陵南校区ですが、安全を常に願い、朝早くからそれぞれの場所で、立哨指導を行っていただいています。その皆さんをお招きし、全校朝会で紹介する機会をつくりました。様々な場所で多くの人に支えられていることに感謝する子どもたちであってほしいと思います。

### 校内スケッチ大会開催5月18日（水）

快晴に恵まれ、全学年によるスケッチ大会（午前中）が行われました。特に5、6年生は、空港や西郷公園、消防署等様々な場所を選び、構図描きに力を注いでいました。どんな絵ができるか完成が楽しみです。



### 音楽専科着任！5月20日（金）

以前、学校便りの中にも、県下で学校職員が不足している記事を掲載したことがありましたが、本校も例外ではなく、本年度に入って音楽専科教員が未配置のままでしたが、ようやく探すことができ、20日着任しました。松田亜優子講師です。これから、2～6年生の授業を受け持ちます。明るく楽しい音楽授業を心がけて参ります。どうぞ宜しくお願いします。

### 5～6月の行事予定

#### 「5月」

- 26日（木）プール清掃（5・6年）
- 27日（金）春の一日遠足

#### 「6月」

- 1日（水）PTA登校指導  
内科検診（2・6年）
- 2日（木）プール清掃（5・6年）
- 6日（月）人権週間（～11日）
- 8日（水）歯科検診（2・6年）
- 10日（金）眼科検診（全学年）
- 11日（土）引き渡し訓練（全学年）
- 15日（水）耳鼻科検診（5年）
- 16日（木）内科検診（1・4年）
- 17日（金）ノーメディア週間（～23日）  
命の教育の日
- 23日（木）PTA班長会
- 27日（月）水泳授業参観週間（～7月1日）

